

「薬学教育モデル・コアカリキュラム (平成25年度改訂版)」について

- 1)「薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年度改訂版)」について
- 2)「薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年度改訂版)」の「F薬学臨床」について
- 3)実務実習の進め方
- 4)「薬局実務実習指導の手引き2018年版」について
- 5)実務実習に役立つサイト

「薬局実務実習指導の手引き2018年版」 と薬学教育モデル・コアカリキュラムの相関

「薬局実務実習指導の手引き2018年版」			薬学教育モデル・コアカリキュラム	
			(2) 処方せんに 基づく調剤	①法令・規則等の理解と遵守
A	保険調剤 ができる	医薬品の調製		③処方せんに基づく医薬品の調製
		処方監査・医療安全		⑤医薬品の供給と管理
				②処方せんと疑義照会
B		服薬指導		⑥安全管理
C				④患者・来局者応対、服薬指導、患者教育
D	処方設計 と 薬物治療	薬物療法の実践	(3) 薬物治療 の実践	①患者情報の把握
				②医薬品情報の収集と活用
				②医薬品情報の収集と活用
				③処方設計と薬物療法の実践（処方設計と提案）
				④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）

A 保険調剤ができる＜医薬品の調製＞

STEP4 より本格的な医薬品の調製 や供給・管理ができる	STEP3 患者の状況に合わせた調 剤ができる	STEP2 工夫が必要な調製・調剤が できる	STEP1 基本的な医薬品の調製・管 理ができる
①薬剤師業務の意義を常に認識して、患者の要望や病態等を総合的に考慮した医薬品の調製や供給・管理を、業務の流れを妨げず適切に行える。 SBOs: 933、934、935、936、937、938、939、940、942、967、968、969、970	①患者の病態を考慮した調剤上の工夫を提案し、複雑な処方箋の計数・計量調剤が何度も同じように(再現性のある)素早く正確にできる。 SBOs: 933、934、935、936、937、938、939、940、942	①実習施設内で扱うすべての処方箋についてある程度スムーズな流れで計数・計量調剤ができる。 SBOs: 933、934、935、936、937、938、939、940、942	①単純な処方箋について計数・計量調剤ができる。 SBOs: 924、933、934、935、942
	②医薬品の供給・管理業務の意義や目的をきちんと認識し、業務に適切に反映できる。 SBOs: 967、968、969、970	②緊急時を含めて、医薬品を供給に供給し、麻薬・向精神薬等について正しく保管できる。 SBOs: 967、968、969、970、971	②実習施設での基本的な医薬品の供給および管理ができる。 SBOs: 967、968、969、970

A 保険調剤ができる<医薬品の調製>

SBOs		STEP4	STEP3	STEP2	STEP1
924	薬歴、診療録、患者の状態から判断して適切に疑義照会ができる。				①
933	主な医薬品の一般名・剤形・規格から該当する薬品を選択できる。	①	①	①	①
934	適切な手順で後発医薬品を選択できる。	①	①	①	①
935	処方せんに従って計数・計量調剤ができる。	①	①	①	①
936	錠剤の粉碎、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。	①	①	①	
937	一回量(一包化)調剤の必要性を判断し、実施できる。	①	①	①	
938	注射処方せんに従って注射剤調剤ができる。	①	①	①	
939	注射剤・散剤・水剤の配合変化に関して実施されている回避方法を列挙できる。	①		①	
940	注射剤(高カロリー輸液等)の無菌的混合操作を実施できる。	①		①	
942	特別な注意を要する医薬品(劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬・抗悪性腫瘍薬等)の調剤と適切な取扱いができる。	①			①
967	医薬品の供給・保管・廃棄について適切に実施できる。		②	②	②
968	医薬品の適切な在庫管理を実施する。		②	②	②
969	医薬品の適正な採用と採用中止の流れについて説明できる。		②	②	②
970	劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚醒剤原料の適切な管理と取扱いができる。		②	②	②
971	特定生物由来製品の適切な管理と取扱いを体験する。			②	

B 保険調剤ができる＜処方監査・医療安全＞

STEP4 医療安全の視点を考慮し、 患者の状態を評価した上で 監査ができる	STEP3 患者情報に基づいて処方内 容の監査ができる	STEP2 医薬品情報に基づいて調剤 薬の監査ができる	STEP1 基本的事項に留意し、医療 安全に配慮した処方箋及び 調剤薬の監査ができる
①患者の病態およびナラティブ、治療の科学的根拠に基づいて、処方の妥当性を判断できる。 SBOs: 920、921、922、923、924、943、979、983、996、998、1025	①医薬品情報および患者情報をもとに、処方内容を監査できる。 SBOs: 920、921、922、923、924、943、979	①実習施設内で扱うすべての処方箋と調剤薬に関して医薬品情報を基に適切に監査ができ、必要に応じて疑義照会を実施できる。 SBOs: 920、921、922、923、924、943	①単純な処方箋および調剤薬の監査を行い、リスク回避のための対応方法を実施できる。 SBOs: 920、921、922、923、943、979、980
②医療安全の見地から適切な処方設計などを提案できる。 SBOs: 980、981、982	②医師や医療スタッフと患者に関する情報を共有（疑義照会を含む）できる。 SBOs: 996、998、1025	②医療安全に配慮した業務を実践できる。 SBOs: 979、980、981、982、983	②実習施設における医療安全の基本を確認し、遵守できる。 SBOs: 981、982、983
	③安全管理指針に従った一連の監査業務等を自らの判断で行うことができる。 SBOs: 980、981、982、983		

B 保険調剤ができる＜処方監査・医療安全＞

SBOs		STEP4	STEP3	STEP2	STEP1
920	処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。	①	①	①	①
921	注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。	①	①	①	①
922	処方せんの正しい記載方法を例示できる。	①	①	①	①
923	薬歴、診療録、患者の状態から処方が妥当であるか判断できる。	①	①	①	①
924	薬歴、診療録、患者の状態から判断して適切に疑義照会ができる。	①	①		
943	調製された薬剤に対して、監査が実施できる。	①	①	①	①
979	特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の安全管理を体験する。	①	①	②	①
980	調剤ミスを防止するために工夫されている事項を具体的に説明できる。	②	③	②	①
981	施設内のインシデント(ヒヤリハット)、アクシデントの事例をもとに、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。	②	③	②	②
982	施設内の安全管理指針を遵守する。	②	③	②	②
983	施設内での衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。	①	③	②	②
996	医療スタッフおよび患者のニーズに合った医薬品情報提供を体験する。	①	②		
998	緊急安全性情報、安全性情報、不良品回収、製造中止などの緊急情報を施設内で適切に取扱うことができる。	①	②		
1025	医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。	①	②		

C 保険調剤ができる＜服薬指導＞

STEP4 個々の患者の視点にたった 服薬指導ができる	STEP3 代表的な疾患の治療に関して、 薬学的知見に基づいた 服薬指導が実践できる	STEP2 基本的な服薬指導ができる	STEP1 基本的な患者対応及び情報 収集と処方解析ができる
①個々の患者の病状経過を踏まえた 薬物療法を分かり易く説明できる。 SBOs: 952、953、954、955、956、957、 1016	①過去の記録、最新の医薬品情報 と患者との面談から収集した情報を 基に治療上の問題点を把握できる。 SBOs: 952、953、1020、1021	①患者面談で収集した代表的な疾患 の薬物治療に関する事項に応じて、 資料を用いて説明できる。 SBOs: 952、953、991、992、1010、 1011	①服薬指導を行うために必要な患者 情報を収集できる。 SBOs: 952、953、991、994、1011
②治療上の問題点を抽出・解析し、 対応策を患者に提案できる。 SBOs: 997、998、1007、1010、1011	②患者の問題点に対する解決策に 基づき、患者が理解できるように指導 できる。 SBOs: 954、955、956、957、996、 1019	②収集した患者や医薬品に関する 情報に基づいた服薬指導を行うことが できる。 SBOs: 954、955、956、957、992、998、 1007	②代表的な疾患の治療薬に関する 情報（用法・用量、有効性、安全性、 使用上の注意等）の収集と加工が できる。 SBOs: 954、955、957、997
	③病態の変化に応じた処方薬変更 の説明と継続的な指導を実践できる。 SBOs: 991、992、994、997、998、 1007、1010、1011、1016、1019	③活用できた患者情報を他の薬剤 師と共有することができる。 SBOs: 958、996、1019、1020、1021、 1023、1024	③コミュニケーションの基本に基づ いた患者対応をし、その内容をもと に指導薬剤師等とのコミュニケーション が取れる。 SBOs: 996、998、1007
		④代表的な疾患に関する治療薬の 効果および副作用・特に注意すべき 事項等を概ね指導できる。 SBOs: 994、997	④収集した情報と服薬指導した内容を 薬歴等に記入できる。 SBOs: 958、992、1019、1020、1021、 1023、1024

C 保険調剤ができる＜服薬指導＞

SBOs		STEP4	STEP3	STEP2	STEP1
952	患者・来局者に合わせて適切な対応ができる。	①	①	①	①
953	患者・来局者から、必要な情報（症状、心理状態、既往歴、生活環境、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等）を適切な手順で聞き取ることができる。	①	①	①	①
954	医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。	①	②	②	②
955	患者・来局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる。	①	②	②	②
956	妊婦・授乳婦、小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への服薬指導において、適切な対応ができる。	①	②	②	
957	お薬手帳、健康手帳、患者向け説明書等を使用した服薬指導ができる。	①	②	②	②
958	収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。			③	④
991	患者・来局者および種々の情報源（診療録、薬歴・指導記録、看護記録およびお薬手帳、持参薬等）から、薬物療法に必要な情報を収集できる。		③	①	①
992	患者の身体所見を薬学的管理に活かすことができる。		③	① ②	④
994	施設内において使用できる医薬品の情報源を把握し、利用することができる。		③	④	①
996	医療スタッフおよび患者のニーズに合った医薬品情報提供を体験する。		②	③	③
997	安全で有効な薬物療法に必要な医薬品情報の評価、加工を体験する。	②	③	④	②
998	緊急安全性情報、安全性情報、不良品回収、製造中止などの緊急情報を施設内で適切に取扱うことができる。	②	③	②	③

C 保険調剤ができる＜服薬指導＞

SBOs		STEP4	STEP3	STEP2	STEP1
1007	患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態遺伝子の特性、心理・希望等)や薬剤の特徴(作用機序や薬剤的性質等)に基づき、適切な処方を提案できる。	②	③	②	③
1010	アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。	②	③	①	
1011	処方提案に際して、医薬品の経済性等を考慮して、適切な後発医薬品を選択できる。	②	③	①	①
1016	医薬品の効果と副作用をモニタリングするための検査項目とその実施を提案できる。	①	③		
1019	臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。		② ③	③	④
1020	薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。		①	③	④
1021	副作用の発現について、患者の症状や検査所見などから評価できる。		①	③	④
1023	報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。			③	④
1024	患者の薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で適切に記録する。			③	④

D 処方設計と薬物療法＜薬物療法の実践＞

STEP4 薬物治療の経過に応じた対応ができる	STEP3 薬物治療に関する基本的な評価と提案ができる	STEP2 医薬品情報と患者情報を合わせた解析ができる	STEP1 医薬品情報や患者情報から治療の問題点を認識する
①効果不十分や副作用発現時の対応を適切に行うことができる。 SBOs: 954、992、996、1020、1021、1022、1023、1025	①薬物治療上の問題点を正確に抽出・解析し、問題点の対応策を提案できる。 SBOs: 924、954、992、995、996、1007、1010、1012、1016、1020、1021、1022、1025	①文書および患者らの情報を抽出し服薬指導に必要な情報に加工できる。 SBOs: 954、992、997、998、1005、1010	①医薬品に関する文書情報と患者から収集した情報から、患者の治療上の問題点の有無に気づくことができる。 SBOs: 994、1005、1018、1019、1020、1021、1023
②処方医との治療薬物に関するモニタリング情報の共有や治療薬変更の提案を実践できる。 SBOs: 924、995、1005、1006、1007、1010、1011、1012、1016、1017、1018、1019	②薬物治療の効果などに関して継続的な管理が適切に実践できる。 SBOs: 958、1005、1006、1011、1017、1018、1019、1023、1024	②代表的な疾患に関して、処方内容が適切かどうか、エビデンスに基づいて評価できる。 SBOs: 995、996、1006、1007、1011、1012、1016、1017、1018、1019、1020、1021、1022、1025	②収集した情報の薬物療法への活用を試みる。 SBOs: 995、996、997、998、1006、1007、1010、1011、1012、1016、1017、1022、1023、1024、1025
③服薬指導した薬物治療に関する情報を分析し、他の薬剤師と共有できるよう記録できる。 SBOs: 958、994、995、997、998、1023、1024			

D 処方設計と薬物療法＜薬物療法の実践＞

SBOs		STEP4	STEP3	STEP2	STEP1
924	薬歴、診療録、患者の状態から判断して適切に疑義照会ができる。	②	①		
954	医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。	①	①	①	
958	収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。	③	②		
992	患者の身体所見を薬学的管理に活かすことができる。	①	①	①	
994	施設内において使用できる医薬品の情報源を把握し、利用することができる。	③			①
995	薬物療法に対する問い合わせに対し、根拠に基づいた報告書を作成できる。	② ③	①	②	②
996	医療スタッフおよび患者のニーズに合った医薬品情報提供を体験する。	①	①	②	②
997	安全で有効な薬物療法に必要な医薬品情報の評価、加工を体験する。	③		①	②
998	緊急安全性情報、安全性情報、不良品回収、製造中止などの緊急情報を施設内で適切に取扱うことができる。	③		①	②
1006	治療ガイドラインなどを確認し、科学的根拠に基づいた処方を立案できる。	②	②	②	②
1007	患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態遺伝子の特性、心理・希望等)や薬剤の特徴(作用機序や薬剤的性質等)に基づき、適切な処方を提案できる。	②	①	②	②
1010	アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。	②	①	①	②
1011	処方提案に際して、医薬品の経済性等を考慮して、適切な後発医薬品を選択できる。	②	②	②	②

D 処方設計と薬物療法＜薬物療法の実践＞

SBOs		STEP4	STEP3	STEP2	STEP1
1012	処方提案に際し、薬剤の選択理由、投与量、投与方法、投与期間等について、医師や看護師等に判りやすく説明できる。	②	①	②	
1016	医薬品の効果と副作用をモニタリングするための検査項目とその実施を提案できる。	②	①	②	
1017	薬物血中濃度モニタリングが必要な医薬品が処方されている患者について、血中濃度測定の提案ができる。	②	②	②	
1018	薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果および副作用について予測できる。	②	②	②	①
1019	臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。	②	②	②	①
1020	薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。	①	①	②	①
1021	副作用の発現について、患者の症状や検査所見などから評価できる。	①	①	②	①
1022	薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づき、医師に対し、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更を提案できる。	①	①	②	
1023	報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。	① ③	②		①
1024	患者の薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で適切に記録する。	③	②		
1025	医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必須事項を記載できる。	①	①	②	

「薬局実務実習指導の手引き2018年版」 と薬学教育モデル・コアカリキュラムの相関

「薬局実務実習指導の手引き2018年版」		薬学教育モデル・コアカリキュラム	
E	在宅医療	(5)地域の保健・医療・福祉への参画	①在宅(訪問)医療・介護への参画
F	セルフメディケーション		③プライマリケア・セルフメディケーションの実践
G	地域で活躍する薬剤師	(5)地域の保健・医療・福祉への参画	②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画
			④災害時医療と薬剤師
		(4)チーム医療への参画	①医療機関におけるチーム医療
			②地域におけるチーム医療